

関東・東北豪雨水害

～東京の生協で力を合わせて～

被災地支援活動通信 No.1

発行日:2015年11月2日 発行:東京都生活協同組合連合会 竹内 誠(専務理事)
〒169-0074 東京都新宿区北新宿 4-8-16 北新宿君嶋ビル 8階 電話:03-6844-3563

支援に至るまでの背景

2015年9月9日に上陸した台風18号の影響により、9月10日から11日に関東、および東北地方で記録的な大雨となり、栃木県、茨城県、宮城県を中心に大きな被害をおよぼしました。

亡くなられた方々にお悔みを申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

東京災害ボランティアネットワーク(以下、東災ボ)は現地調査を実施、緊急役員会を開催、現地支援の必要性を鑑み、個人ボランティアが減るシルバーウィーク後の10月以降の平日支援企画を検討。その後、常総市内では一般家屋と同様に公民館や集会所が被災してしまい、これまでおこなわれてきたコミュニティでの寄り合いなどができなくなってしまい、地域での情報交換の場や支えあいの場が失われているという現状を現地関係者から聞き、東災ボは、これまでの被災者支援活動の経験を活かし、常総市内でのコミュニティ支援を実施することとなりました。東京都生協連は、地域生協を中心に東災ボの支援活動への協力を依頼し、ボランティアを現地に派遣することが確認されました。

活動期間

今回の水害は被害地域が大きく、特に茨城県常総市においては、床上浸水が4800棟、床下浸水にいたっては7200棟以上(9月25日現在)となっており、長期にわたる支援活動の必要性が考えられます。よって東災ボでは、活動期間を12月までと、1月から3月までとしています。東京都生協連は、地域生協を中心に、12月までの支援活動に協力します。毎週火曜日と金曜日、10月27日(火)から12月25日(金)の9週・18回のボランティア活動としています。

活動場所と活動内容

コミュニティの一環として、地域での情報交換の場や支えあいの場となる場所の提供

主に、茨城県常総市内の橋本町地区・森下町地区でのサロン活動(移動喫茶活動)を中心としています。地域での情報交換の場や支えあいの場として、人が集まって会話しやすい空間を作ること大切にしています。

また、サロン活動は、常総市内の市民の方々にもお手伝いをいただきながら運営を進めていく予定です。12月に活動が終わる時に、市民の手で運営できるような形を目指しています。

※常総市水海道橋本町、および水海道森下町のエリアでのサロン活動となります。この地域は常総市水海道地域の住宅街であり、鬼怒川の決壊によって浸水するよりも内水氾濫によって被害が拡大したエリアです。

活動スケジュール

- ・守谷駅・ニッポンレンタカーTX 守谷集合
 - ・オリエンテーション
 - ・喫茶実施場所到着
 - 資機材・チラシ準備
 - 喫茶実施チラシの配布(次回の喫茶の案内チラシ配布)
 - ・昼食(手弁当)
 - ・サロン準備
 - テント・機材設営、お湯沸かし、ホットケーキ作り等
 - ・サロン(喫茶)
 - ・片付け・撤収
 - ・守谷駅解散
- ※9:30~17:30(予定)

コーディネーター

現地でのコーディネーションについては、東災ボ事務局の他、現地協力団体でもあるJUNTOS(NPOセンターコモンズ)にご協力いただきます。

被災者支援で大切にしていること

被災者の方々との関係を大切に、被災者の方々のペースに合わせての活動、最大限、被災者の方々に配慮した活動を心がけています。

また、被災地の団体の方々との関係も大切にしていきます。

ボランティア事前説明会

10月21日より毎週水曜日に、説明会を開催しています。



◆次号では支援活動報告を掲載する予定です。◆